

歩ある国立 記立

KUNITACHI・ARUKI

vol. 22

2013年春号

TAKE
FREE

特集：くにたち
ゲートウェイ

春のピカピカ NEWショップ
ニャン太のくにたち 東へ西へ
ファミリートーク
Kunitachi Times

家が男を
愛す

『国立大学町を眺める婦人像』
(油彩 1950年代 作者不詳)
—明窓浄机館にて





たち vol.1 ウエイ

季節ようこそ！
通りの先に
くにたち入門編。

国立駅落成式は1926(大正15)年4月1日。万国旗がはためき、相撲大会などのお祝いの催しも行われ、村民も大勢集まった。国分寺方面に野外音楽堂があったが「国立映画の會」とゲートに書かれている通り映画上映も。



国立大学町誕生物語

明窓浄机館 めいそうじょうきかん

【国立町誕生当時の写真展 会期】

第一回 2013年1月8日～3月30日

第二回 2013年4月2日～5月18日

第三回 2013年5月21日～6月29日

【入場料】500円(小学生以下無料)



【明窓浄机館】
国立中2-4-3
☎042-576-0551
(機サトウ)
【OPEN】
10:00～17:00

学園都市・国立は、今から約90年前、原生林を切り拓いて誕生した。当時の貴重な写真と宅地販売チラシなどの資料が、富士見通りのギャラリー「明窓浄机館」で展示されている。未知の可能性からまちを、人生を切り拓く。当時の人びとの息づかいや熱気を感じられる。

写真を撮影したのは、国立を開発した箱根土地株式会社(現プリンスホテル)の重役、故・中島陟(のぼる)さんで、ご子息の故・渉(わたる)さんが大切に保管していたもの。

水禽舎・野外音楽堂・ぼたん園に着飾って出かける人びと。造成工事や国立駅舎落成祝賀会などの開発現場のエネルギー。大学通りに複葉機が離発着している写真もあって、その多様性に驚きが隠せない。中でも、油絵『国立を見下ろす婦人の図』(表紙の絵)は、新しくつくられるまちに對する夢を感じさせる。

明窓浄机館では「一つのまちが生まれた物語を感じ取ってもらえれば」との思いで、150点の写真を3回に分けて6月末まで展示する。

くにたちの歳時記を知るなら
くにたち郷土文化館

多摩川が育んだ段丘(ハケ)とともに発展してきたのが、くにたちの前身・谷保村。まちの小さな博物館・くにたち郷土文化館では、年間を通して、さまざまな谷保村の伝統行事や自然環境のフシギを体験することができます。(祭事写真提供…くにたち郷土文化館)

※印は古民家開催イベント

5月 端午の節句※

市民から寄贈された五月人形とこいのほりを展示。

6月～10月 ハグロトンボ調査隊

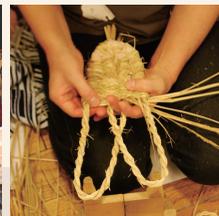
ほっそりしたからだと黒い羽、美しいハグロトンボの成長には水やハケの森が不可欠。毎夏、その生態調査に参加する中学生以上の隊員を募集。

7月 七夕飾り※

平和、幸せ：さまざま願いを織姫・彦星に託します。

8月 わら草履づくり

「くにたちの暮らしを記録する会」のみなさんの指導で、谷保の稲わらを材料にわら草履づくりに挑戦。





くにゲート



花と緑あふれる
まちかどに
宝物が見つかる



◀コルクボードに直接、国立周辺の地図をプリント(右)。南北の位置関係ではなく、国立本店を起点とし、「いま、その場」の向きに合わせたデザイン。

国立のいま、これから

国立本店 くにたちほんてん



【国立本店】
国立市中1-7-62
☎042-575-9428
【OPEN】
15:00~21:00(木・金)
12:00~18:00(土・日)



▲「ほんの団地」入居者たちの本がずらり。「お、こんな本も!」、ふらりと訪れた人たちも会話弾む。運営メンバーとも気軽に。将来、国立の街ガイドとしての役割も担う。

▶ロゴもリニューアル。デザインはグラフィック・デザイナーの丸山昌崇さん(国立本店・元店長)が手けた。月に一度、「ふるほんいち」も開催される。

「どんどん『まち』と、からんでいきたい」メンバーの想いで、ワークシヨップやイベントも今後増やしていくそう。国立のひとつ・まちが温かく、ゆるやかにつながる空間として期待される。

「自分の本棚から何かを伝えたい」気持ちが発信できる仕組み。
「コトノハグサの部屋」「一筋縄ではないかない部屋」など、ユニークなネーミングも楽しく、偶然この場所出会った見知らぬ人がお互いを知るきっかけになっている。また、この団地には「くにたちの部屋」もあり、国立の街情報をキャッチすることも可能だ。

2006年6月よりデザイン関連の展示や古本販売をしてきた国立本店。それが2012年10月、「ほん」を通じて「まち」とつながる「コミュニティ・スペース」としてリニューアル・オープン。新たに約30名からなる『ほんとまち編集室』が運営し、さまざまな企画を生み出している。
「ほんの団地」はその企画を代表するひとつ。40区画の本棚を団地に見立て、運営メンバーを含む入居希望者に貸し出す。

【くにたち郷土文化館】
国立市谷保6231
☎042-576-0211
【OPEN】9:00~17:00
(入館は16:30まで) 休館日第2・第4木曜(祝日のときは翌日)
【国立市古民家】
国立市谷保1705-1
※行事の詳細はHP「くにたち郷土文化館」で検索



3月 ひな祭り※
桃の節句の前後にひな人形の段飾りを展示。古民家でも。

2月 節分豆まき※
邪気を払い、無病息災を願って、思いっきり豆まきしよう!

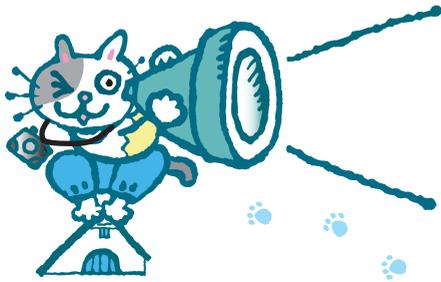
1月 まゆ玉団子飾り※
養蚕の繭の豊作を願った米粉の団子とみかんをカシの木に。

12月 しめ縄飾りづくり
ワラを使ってつくる自分だけの正月飾り。

12月~2月 星空ウォッチング
大型望遠鏡を使って、澄んだ冬の星空を眺めてみる。

9月 十五夜団子づくり※





ニヤン太のくにたち vol.13

東へ西へ

(株)国立ロジスティクス



(株)国立ロジスティクスは国立倉庫株式会社より独立し、1992年設立。敷地面積は約5000坪。

30cmのコンクリート壁でできた“くらし館”。モダンな造りでグッドデザイン賞受賞。周辺住宅との境目に建設され、防音壁の役目も。

国立南のゲートウェイ、国立IC。その間近で物流を担う地元企業！

ニヤン太は春のお散歩中。谷保の畑を通り抜けると、そこにはモダンな建物がいっぱい。「なんだかオシャレだニヤ。なにかのお店かニヤ…なんだ、鍵がしまつてるのかあ」「どうしましたか？」そこへ二人の男性が現れました。

「こんにちは。ここはなあに？」

三田友二社長「こんにちは。ここは(株)国立ロジスティクスのくらし館。中はトランクルームと貸金庫です」

「三」当社は物流の会社。倉庫業を営む国立倉庫株式会社の子会社です」

「もしかして、あつちもこうちも倉庫なの？ 広い！」

「三」はい。敷地の確保は地主だった先代が周辺農家に呼びかけることで実現しました。国立ICが完成した頃、「この立地を活かして南部開発を」と協力を募りました。ちなみに先代はお醤油屋だったんです」

「時代の先を読んだニヤ」。

「三」倉庫やセミナー室のある12号棟ですね。ここには通常の倉庫の他に、温度と湿度が管理できるピアノ用倉庫もあるんですよ」

「大事なものを預けても安心だ。」

「三」それから今当社が注力している、ネット通販向けの物流代行サービスもこの12号棟を使っています」

「三」商品の在庫管理から発送までを請け負



代表取締役三田友一さん。25年前、長年勤めた会社を引退し父のあとを継ぐ。「印刷会社でしたからレイアウトにはこだわりがあって」会社ロゴはお気に入りだとか。

「三」これからのニーズに応える物流サービスをつくり、多くのお客様に喜んでいただきたいですね」

「流通の裏方にもがんばる人達がたくさんいるんだニヤー！」



▲会社ロゴは未来に羽ばたく翼がモチーフ。中心には社名のイニシャル「K」。

▼くらし館内のトランクルーム。高セキュリティに温度管理、ハンガーラックや棚（別料金）も完備。使いやすさは抜群です。



▼銀行と同等のセキュリティを持つ全自動貸金庫。年中無休、8:30～22:00で利用できてとっても便利！



▲温度と湿度を管理できる倉庫には、デリケートな家具やピアノも安心して預けられる。



▼入庫の作業は手元の端末でバーコードをスキャン。在庫にはひとつひとつ保管場所が割り当てられます。発送準備の際もスキャンで再確認。



ファミリトーク

第3話



つくし文具店
国分寺市西町2-21-7
【TEL】042-537-7123
【OPEN】12:00~17:00
【定休日】火



店内に設置される黒板を使って、月に一度「ちいさなデザイン教室」が開かれる。主宰は二代目店主の修さんとメンバーは学生から40代とさまざま。希望する生徒が「日直」を担当し、代わりばんこに店番をしている。

1965年の開店から約25年間、主婦の井戸端会議、中学生の放課後の遊び場として愛されてきた。文具の他にアイスクリームやメンコ、当時珍しかったコピー機、正月には凧や駒も店に並んだという。二代目修さんがデザイナー仲間とともに店内をプロデュースし、再オープンしたのは2005年。黒板は「ドリルデザイン」によるもので学校の雰囲気を演出している。

姿カタチは違うけど、
やってることは一緒かもね。

つくし文具店 萩原悦子 × つくし文具店 萩原修
初代店主 二代目店主

1965年に開店した住宅街にある3坪の小さな文具店。
時代の流れとともに棚に並ぶ商品は随分変わったけれど、
ヒトとヒトがつながる“遊び場”であることは今も昔も変わらない。

悦子 開店当時はプラモデルを売っていたのよ。

修 覚えてるよ。その名残で今もいくつか店に置いてるからね。プロマイドを扱ってる時期もあったな。

悦子 その時々で流行ったものを色々ね。店の前は学校帰りの中学生であふれかえってたわ。通信簿を平気で見せ合ってたような時代だったのよ。私の旧姓が筑紫だから、つくし文具店。「うちの子はつくしの

おばちゃんに育てられた」なんて言うてくださるお母さんもいるのよ。

修 そのつくしのおばちゃんが買物に出かけてる間、僕が店番をしてさ。なにせ自宅が店なわけだから、家に入出入りするの当たり前。オーブンな環境で育ったんだよね。

悦子 1990年に店をたたんだんからは、物置状態だったわね。
修 今は大人向けの文具を扱ってるから、昔とは全然雰囲気が違うね。

悦子 私の手編みソックスも置いてもらってるけど(笑)。

修 国立みたいな郊外の住宅街に、ただ家が建ち並んでるだけじゃなく、ちゃんと人が集まれて息抜きできるコミュニティスペースがある。これが僕のおばちゃんだけけど、実はつくしのおばちゃんもやってきたこと共通するんだよね。大人だけじゃなく、子どもが一人で気兼ねなく遊びにこれる店にするのが当面の課題かな。

美大に通う修さんに感化され約30年前にはじめた悦子さんの油絵。80歳の記念に、書家である妹さんと初の個展を開催する。
【姉妹展:国分寺の司画廊にて、5月1日~6日まで】



パン・ド・ノエル

一つひとつ真心こめたパン
人を繋ぐ なごみの場

昨年12月22日、クリスマスをテーマに開店したパン屋さん。柔らかくて食べやすい優しい味のパンが常時30種類ほど並ぶ。クリスマス菓子のシューレンが1年中楽しめるのも魅力。オーナーの関口美樹さんは「お店を通じて人を繋ぐことができた」とビル3階にカフェもオープン予定。日替わりの焼き菓子も見逃さない。



国立市東2-13-22
[TEL]042-505-7085
[OPEN]10:30~18:00
[定休日]日・祝



ドライフルーツがたっぷりのシューレン
850円(大)400円(小)



オレンジパン
350円

アップルパン
350円



コーヒークリームパン
230円

チーズツイスト
180円

カレーパン
200円



ニャン太も応援！ 「春のピカピカNEWショップ」



梅も桜も咲いて春爛漫。
この街にオープンしたての
新顔ショップを訪ねました。

新しい出会いとときめきと一緒に。



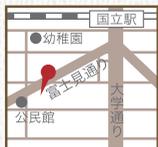
プレゼントの応募方法については裏表紙をご覧ください。 

illust ひらまつかわ

和食 周右衛門

味を支える若き理想
元気をもたらえる割烹料理

お客様を最上の和食でもてなし、元気になって家路についていただく。その理想を叶えるため、若き店主・加瀬健一さんに一切の妥協はない。料理にはその日一番の食材を使用。山形の地酒をはじめ日本酒は厳選されたものばかり。密かな人気のカレーうどんは隠れたお楽しみだ。舌鼓を打つことで明日への活力も養えるだろう。



国立市中1-16-72-2F
[TEL]042-574-1018
[OPEN]17:00~23:30
(L.O.22:30)
[定休日]月



活きの良さが自慢。
旬のお刺身3種盛り
1,500円



手間隙かけた出汁
が味の要。
茶碗蒸し600円



板場の顔・加瀬さん。
料理のリクエストも大
歓迎だ。

席数は20。貸切もでき
るので春の宴会に
最適。





アズ ダイニング
AZDINING ピッツェリア 国立店

こだわり抜いた窯と生地
 ピッツァで過ごす豊かな時間

絶妙な火加減を実現するレンガ窯。季節によりこね具合を調節する自家製の生地。昨年11月、本格ピッツェリアは最高の設備と素材を備えてオープンした。国立の街を「流れる時間が穏やかで心地よい」と語る、和田敏宣マネージャー。1枚ずつ丹念に焼き上げられるピッツァは、心地よい時間をさらに味わい深くするはず。



ピッツァの代表格・マルゲリータ 980円



和田マネージャー。
 「国立に愛されるピッツェリアでありたいです」



約400℃の直火が旨みを引き出す。



国立市東1-7-7-3F
 [TEL]042-505-9520
 [OPEN]Lunch11:30
 ~15:30(L.O.15:00)
 Dinner17:30~23:00
 (L.O.22:00)[定休日]無休



パスタメジャー
 2,100円



スプーン&フォーク
 各1,260円



オリーブのまな板
 4,200円(小)~



深皿(径17cm)
 6,090円



トスカーナ陶器の
 ルームプレート
 各1,890円

ストラーダ・ビアンカ

トスカーナの風を食卓に
 オリーブのキッチン雑貨店

20年前にイタリア・トスカーナに暮らして魅せられ、伝統工芸であるオリーブ雑貨を日本で紹介したいと昨年10月末に開店したオーナーの山田夫妻。どれも樹齢100年以上の木を現地の工房でひとつずつ職人が手作りしているため形、木目、色も違う一品ばかり。平和の象徴オリーブが食卓にスローな暮らしを選びます。



国立市東1-16-7 1F
 [TEL]042-505-9238
 [OPEN]10:30~18:30
 [定休日]水

ディーラウンジ

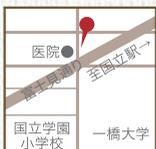
D Lounge

パンケーキと快適な空間
 毎日の出発はラウンジから

閑静な住宅街にオープンしたカフェは、街のラウンジになりつつある。自然な甘みのパンケーキと、40席を用意して尚広々とした店内がすでに口コミで人気だ。併設のショップも独自のセレクトで目を楽しませてくれる。店名の"D"は「departare(出発)」。心地よい空間でフレッシュして、日々の暮らしへ出発してほしい。



大人気のパンケーキマニア
 (ドリンク付き)1,300円



国立市中1-19-15
 [TEL]042-505-9529
 [OPEN]火~日10:00~22:00
 ※ご予約の際は24:00まで対応可
 [定休日]月



オーナーの鈴木浩司・藍夫妻



セレクトショップ。海外で買い付ける商品の大半は1点モノだ。



国立歩記 安心安全 防災コラム

災害から身を守るため やっておきたいこと

「きみたち」も防災の担い手！

＊集まれ！ 少年少女レスキュー隊＊
『消防少年団員募集中！』



立川消防少年団長の
姪・渡辺亜由美
さん(イラストレ
イター)による「立
川オリジナル」の
イメージ・キャラク
ター。立川消防少
年団の意識の高さ
を象徴。

東日本大震災という未曾有の経験から2年。尊い命や街を災害から守るためには、一人ひとりの意識向上と地域のつながりが大切です。多摩地域においても、地震だけではなく、どんな災害が「いつ起こるか」「どこで起こるか」は誰にもわかりません。被害が起きたとき、大人だけでなく、将来の地域を支える子どもたちの「防災力」向上が必要となります。親が仕事で日中、自宅を離れていても、小中学生は地域にいる点に着目。立川消防少

年団は、国上市・立川市に住む小中学生を対象に防火防災の技術・知識をはじめ、キャンプや餅つき、老人ホームへの慰問、「火の用心」の夜回りなど、実際に地域社会への活動を行っています。また、それは他人への思いやりを学び、健全な心身の育成につながる貴重な経験にも。

立川消防署では独自の立川消防少年団の活動を応援するとともに、将来、地域における防災の担い手として活躍いただける小学1年生から中学3年

生までの子どもたちを随時募集中です。入団手続きやお問い合わせは、立川消防署・防災安全係(042-526-0119)まで。(取材協力:立川消防署)



第23回

くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート

ヴェルディ生誕200年記念

名歌手たちの夢の饗宴

二期会・藤原歌劇団などのトップスターたちが華麗に集う、兼松講堂で初のオペラ・ガラ・コンサート

2013年5月19日(日)午後2時開演(開場1時30分)

一橋大学兼松講堂(JR国立駅南口徒歩7分)

曲目

「トラヴィアータ」(椿姫)より “ああ、そは彼の人か” ほか

「リゴレット」より “女心の歌” ほか

曲目は変更になることがあります

清水華澄
メゾソプラノ

光岡暁恵
ソプラノ

村上敏明
テノール

森口賢二
バリトン

小川里美
ソプラノ

牧野正人
バリトン

砂川涼子
ソプラノ

浅野菜生子
ピアノ

望月哲也
テノール

【前売券】(当日は各500円増し)

S席 3,500円(指定)

A席 2,500円(自由)

学生 1,500円(自由)

☆未就学児童のご入場、お車でのご来場はご遠慮下さい。

☆車いすでの来場は、あらかじめご一報ください。

(☎090-8495-4582)

【チケット販売】

一橋大学西生協西/白十字南口店 /

くにたち市民芸術小ホール /

リストランテ国立文流 /

CNプレイガイド ☎0570-08-9990 /

東京文化会館チケットサービス

☎03-5686-0650

【問合せ・予約】

コンセルプレミエ ☎042-662-6203

(月～金 10:00～18:00)

【共催】ボランティア・チーム如水コンサート企画 /

立川オペラ愛好会

【特別協賛】多摩信用金庫

※詳細は「国立楽器、名歌手たち」で検索

期間中の土日の
2時から、展
示作品の絵本の
「読み聞かせ」も



ギャラリービブリオ

【住所】国立市中1-10-38 [TEL] 042-511-4368 [営業時間] 11:00 ~ 19:00 [定休] 水

降矢奈々絵本原画展

～ 110名の絵本作家が参加する「手から手へ展」の連動企画展～

降矢奈々さんは国立市出身でスロバキア在住の絵本作家。『めつきらもつきらどおんどん』(絵)、『ちょろりんのすてきなセーター』(絵・文)などで知られますが、降矢さんの原画展が全3回にわけてギャラリービブリオで開かれます(入場無料)。5月17日～6月3日は『めつきらもつきらどおんどん』、6月12日～6月25日は『ちょろりんのすてきなセーター』、7月11日～7月23日は『おつきちゃんとかっぱ』です。本展は、同時期にちひろ美術館(練馬区下石神井4-7-2・03-3995-0612)で行われるチャリティー展「手から手へ展～絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ～」の、国立でのサテライト展です。「手

から手へ展」には降矢さんの声かけにより、7カ国110名の絵本作家が参加。売り上げはすべて福島県の子どもの健康を守る支援団体に寄付されます。「生きることで精一杯の人々にとって、アートなど役立たずでしかないのでしょうか。(中略)今この時、私たちアーティストができることのひとつ。私たちの発するメッセージが観客の方々に届き、それが人々の手から手へと伝わり世界に広がっていくことを願い、この展覧会に『手から手へ』と名づけました」と降矢さん(公式サイトより)。※ギャラリービブリオで「手から手へ展」チケット・図録・記念グッズなどの販売はありますが、絵の販売はありません。



小松菜はホウレンソウと並んで、くにたち野菜の葉物の代表格。この春は、2月に種まきをしたものを4月半ば

から出荷しますよ。国立では一年中収穫できるけど、夏は一日で3センチも伸びるから、収穫時期がちょっとでもずれると市場では価値が下がっちゃう。うちは一人でやっているから追いつかなくて、小松菜は5月まで。そのあと9月末まではトマト、キュウリ、ナス中心の夏野菜です。

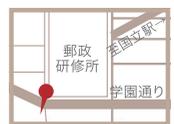
毎年3月は畑の準備で土づくり。有機質の肥料中心で化成肥料は控えめに、その配合に気がつかない。私の実家は宮城の稲作農家ですが、35歳まではサラリーマンでしたから、谷保に来てからは親父(辰男さん)の見よう見まねで試行錯誤、自分なりの方法をつかんできたわけです。

小松菜の畑は毎日見回り、一匹でも蝶が飛んでいたらすぐに葉のウラを見ます。たちまち青虫にやられてしまうし、ヒヨドリも2、3羽が偵察に来たと思うと翌日には100羽でやってくる。クセがないからおいしいんだよね。だから小松菜には防鳥ネットも欠かせないんです。(談)



柳澤一彦さん
1952年生まれ。東京の大学を卒業後、着物販売会社で商品企画から広告・イベントまで手掛ける。35歳で退職し、職場結婚した小夜子さんの実家を継いで谷保農家の一員に。

柳澤さんは、国立駅前の直売所にも出荷しているが、週に2、3回は自ら直売も。11時～。「来週の販売予定」という張り紙にご注目。



お酒を連れて出かけませんか？

陽だまりの一杯

なでる風が心地よい季節です。

びりお酒を味わうにはもってこい。

庭先。お気に入りの場所で、

お楽しみください。



SAKE-BOUTIQUE
SEKIYA

C'est là Vie
SAKE-BOUTIQUE
SEKIYA
Depuis 1910 おかげでまで103周年

国立市中1-9-30 せきやビルB1/1F ☎042-571-0001
<営業時間> [1F] 10:00-21:30 [B1F] 11:00-21:00

せきや『春の大試飲会』開催

【日 程】2013年4月21日(日)

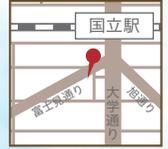
1部 12:00～14:30 (14:00 受付終了)

2部 15:00～17:00 (16:30 受付終了)

【会 場】国立せきやビル7F エソラホール

【入場料】前売券：¥2,000 (発売中)

当日券：¥2,500



今年も春の大試飲会を開催します。約80銘柄のワインをはじめ日本酒や焼酎など、200銘柄以上のお酒が勢ぞろい。当日はせきやスタッフがご案内いたしますので、お酒のことなら何でも聞いてください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【お願い】●お車でのご来場は固くお断りしております。●お子様連れでのご来場はご遠慮ください。●20歳未満の飲酒は法律で禁止されています。●当ビルは全館禁煙とさせていただきます。



●Shochu 焼酎

別撰熟成桜島

750ml / 1,365円

南薩摩産のさつま芋「黄金千貫」と黒麹で丹念に仕込んだ原酒の中から、貯蔵熟成に適した最高品質のものだけを厳選。さらに2年以上の時間を費やして熟成させた、特別仕立ての薩摩芋焼酎です。柔らかな香りとまろやかな味わいは、素材と仕込みに贅を尽くした1本ならでは。あなたもきっと爛漫の酔い心地に誘われるはず。



●Wine ワイン

ロレンツ / コプスタンド

720ml / 1,890円

温暖な気候と素晴らしい土壌で知られる、ドイツ・ラインヘッセン。その中心部で280年以上続く醸造所でつくられるワインです。原料のブドウは自然農法で育てられたもの。これを代々受け継がれた醸造技術により、フルーティで豊かな香りをもつワインへと生まれ変わらせます。由緒ある自然派ワインをリーズナブルにどうぞ。



国立音楽センター
042-576-1213



お酒といえば音楽。青空の下、「くちぶえ」で春のBGMを奏でてみませんか？分山先生はライブやCM音楽などで活躍する、トップクラスの口笛奏者。丁寧な指導は初心者の方でも安心です。四季折々の曲を楽しく練習しながら上達できますよ。軽やかなメロディが草原を渡れば、気分はサウンドオブミュージック。

●タリーズコーヒー国立店

香り立つフィナーレ。
カラダを癒す豊かな風味

042-501-0336
第二せきやビル



本日のコーヒー (S:300円～)

うららかな日差しとお酒を満喫したら、最後にタリーズの「本日のコーヒー(S:300円～)」をどうぞ。コーヒーに含まれるカフェインには、アルコールの分解・排出を促進する効果があるんです。素敵な一日が大切な思い出に移ろう時間。豆の旨味が充分に引き出された一杯を手に、ゆっくりお過ごしください。





●Sake 日本酒
 四季桜 純米吟醸
 720ml / 1,480 円

咲き誇る桜のラベルが美しい純米吟醸酒です。原材料には酒米の最高峰・山田錦と由緒ある香露酵母、そして蔵元がある栃木を流れる鬼怒川の澄んだ水を使用。これらを丁寧に温度調節しながら醸し、大型貯蔵冷蔵倉庫で長期熟成させて仕上げます。ふくよかな味わいと喉越しの良さは、丹精込めた醸造の証なのです。

●Molt モルトウイスキー
 アンノック
 “ピーター・アークル”
 リミテッド・エディション
 700ml / 6,300 円

伝統のシングルモルト「アンノック」が、ナイキのイラストやNYタイムスの挿絵などで知られるピーター・アークルとコラボした限定ボトルです。パッケージのイラストはアンノックを構成するすべての原材料を描いたもの。余韻の長いスパイシーな甘さを味わいながら、目でもアンノックをお楽しみください。



のどかな東風が誘うから、
春をもてなす、

やわらかな日差しと頬を
 休日の昼下がり、野外でのん
 里山、公園、自宅の
 春の一杯を



●Beer ビール
 ブーン・クリーク
 375ml / 745 円

ラベルのイラストが示す通り、サクランボがブレンドされたベルギービールです。ランビック（自然発酵で造られるビール）に大量のサクランボを漬け込み、オーク樽で5～6ヶ月熟成。濃いルビー色に、さわやかな酸味とカラメルのような甘さが生まれます。満開の桜を愛でながら、ベルギーの桜ラをお賞味あれ。



春のお酒をもっとおいしく

ブーランジェリーカフェ
 バンブー
 ●bambou

口いっぱい頬張る、
 箱一杯の幸せ



お楽しみランチボックス 880 円



国立市中1-8-13
 ☎042-577-5168



日当りは良好、かたわらにはお酒。そんな休日に欠かせないのが、特別なランチですね。オススメはバンブーの人気メニュー「お楽しみランチボックス (880 円)」。6～7種類の小さなパンとデザートが、箱いっぱい詰った一品です。ワインやビールで口へ運べば、お腹もココロも満ち足りるはず。
 ※テイクアウトは紙の箱でお渡しします。

●国立音楽センター

お日様・お酒・音楽が
 My Favorite Things ♪



わきやまきみこ
 分山 貴美子のくちぶえコース

くにたち春のイベント情報

春うらら桜ウォーキング 4月7日(日)



国立立川の桜の名所を巡る。一橋大学南門前で受付後(10:00~11:00)、立川駅周辺までの約9キロ。問い合わせは、042-574-1199(国立市観光まちづくり協会)。

さくらフェスティバル 4月6日(土)~4月7日(日)



イベントステージ、模擬店、屋台など、さくら通りに面する谷保第三公園で開かれます。6日は11:00~17:00、7日は10:00~16:00。さくらを見下ろす消防はしご車体験が人気です。

商協花まつり 5月19日(日)



新緑の大学通りで行われる街角コンサートが商協花まつりです。花と緑と音楽のコラボイベントです。時間は12:30から14:30まで。鉢植え春の花のプレゼントもあります。

読者のみなさまへプレゼント!

kunitachiaruki present

プレゼント有効期限13年5月末日迄



周右衛門オリジナルカレーうどん
(600円相当)

和食 周右衛門(P5) 2名様



オリーブのミニスプーン1本
(630円相当)

ストラダ・ピアノカ(P6) 2名様



500円分のお買い物券

バンブー(P10) 5名様



お好きなアイスクリーム
※バニラ・エスプレッソ・カシス・アマレットからひとつお選びください。(350円相当)

D Lounge(P6) 5名様



「国立歩記を見た」とお話しの上、1,000円以上お買い上げのお客様にパン焼き菓子を1つプレゼント(4月末まで)

パン・ド・ノエル(P5)

伝助さんクイズ!

国立の春といえば街を彩る桜。特に壮観なのが、さくら通りと大学通りですね。さて先に桜が植えられたのは、どちらの通りでしょう?



抽選で5名様にP10掲載の「四季桜・純米吟醸(1,480円相当)」をプレゼント!皆様のご応募を心よりお待ちしております。

おかげさまで10周年! せきやビルFLOOR GUIDE

FLOOR	NAME	TEL	OPEN/CLOSE
7F	多目的ホール せきやホール	042-576-7728	受付 平日 10:00-17:00 (利用 月-日 9:00-21:00)
	国立楽器 国立音楽センター	042-576-1213	月-土 10:00-21:00(日祝休)
6F	オーブンスクール NHK 学園	042-574-0570	月-金 9:30-17:30 土日 10:00-15:00(祝休)
5F	GEO フィットネス国立	042-580-4538	月-水金 10:00-23:00 / 土 10:00-21:00 日祝 10:00-20:00(木休)
4F	塚田農場 国立店	042-580-4502	11:30-14:30 17:00-23:00(年中無休)
	エステサロン さくら	042-572-3000	10:00-20:00(月休)
	幼児教室 ジャック国立教室	042-573-6880	9:30-18:30(年中無休)
3,2,1F	SEIYU 国立店	042-576-2401	24H 営業(年中無休)
B1F	SAKE-BOUTIQUE SEKIYA	042-571-0001	[1F] 10:00-21:30(年中無休) [B1F] 11:00-21:00(年中無休)
	ド・イツ式 かり売り専門店 フォムファス	042-572-4741	11:00-19:00(年中無休)
	30農家のくにたち野菜タバス くにたち村酒場	042-505-6736	17:30-23:00(L.O.22:15)(年中無休)

第二せきやビル&シェ・ルイ

タリーズコーヒー 国立店	042-501-0336	月-土 8:00-22:00 日 8:00-20:00(定休日なし)
ブーランジェリーカフェ バンブー	042-577-5168	火-日 10:00-19:00(月休)

[プレゼント応募要項]

はがきに、①ご希望のプレゼント名1つと応募の理由(伝助さん QUIZはその答え)②住所・氏名・電話番号・職業・年代を明記のうえ、③面白かった記事、本誌へのご意見・ご感想をお書きになって、下記までお送りください。

[宛先] 〒190-0011東京都立川市高松町3-14-13 (株)ビックス気付国立歩記編集部「プレゼント」係
[締切日] 2013年4月15日(月)
当日消印有効※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

ウェブからのプレゼント
応募はこちら



kunitachiaruki.jp

パソコンなら上URLを、携帯ならQRコードをどうぞ(一部の携帯は未対応)。QRコードはデンソーウェブの登録商標です。



国立歩記 Vol.22 2013春号 2013年3月15日発行(季刊4回・無料)

企画・制作 国立歩記編集部 ; Editor & Writer 田中えり子 松本陽 / (有)サイコム ; Writer 鈴木三和 両角晴香 せきみえ 長谷川雅典 山根かずき
Logo Design 関 敏(石の彫刻家) ; 細田真吾・稲垣大地 / (株)ビックス ; Design 国立圖案室+十杉さやか(BAN インターナショナル)

印刷・発行
株式会社ビックス
〒190-0011
立川市高松町3-14-13

TAKE
FREE